

京都市では、各施設の運営がどのようにになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市歴史資料館の運営について

京都市歴史資料館は、京都の歴史に関する資料の保存と活用を図り、市民の文化の向上及び発展に役立てることを目的として昭和 57(1982)年 11 月に開館しました。

前身である「京都市史編さん所」には、京都市史編さん作業を通じて、市民の皆さんからの寄贈・寄託などにより多くの古文書などが蓄積されました。

これらの貴重な史料を引き継ぎ、さらに収集と調査研究を行うとともに、資料の閲覧・展示、歴史講座の開催、図書の刊行などにより、研究の成果を広く紹介しています。

歴史資料館の収入と支出

<支出>

総額 6.8 千万円

利用者 1 人当たりの運営経費 2,550 円 (A)

その他 110 円	光熱水費 190 円	管理・運営 430 円	職員人件費 1,820 円
--------------	---------------	----------------	------------------

<収入>

総額 0.3 千万円

総額 6.5 千万円

収入 110 円 (B)

(A) - (B)

補助金等 40 円 (2%)	物販・講座 受講料等 70 円 (3%)
----------------------	-------------------------------

差額 2,440 円 (95%)

市民の税金で負担 (公費で負担)

いずれも概数
10 円単位で四捨五入

- 施設を利用しない方も含めた市民の負担 (公費負担) により、運営に当たって利用者 1 人当たり 2,440 円のコストがかかっている施設を無料でご利用いただいております。

施設の運営費は、利用者の負担 (施設使用料等) と公費負担 (市民の皆様になめていただく税金) などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組 (維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等) を進めてまいります。